

広報

にしあいづ

10

2022

No.768

もくじ Contents

P2 特集 滝坂地すべりを考える ～地域・公共の安全に向けて～



(提供：阿賀川河川事務所)

滝坂地すべりの経過

明治21年 (1888)
松坂地区南部で地すべり発生、耕地が荒廃。
明治38年 (1905)
常盤地区一帯がすべり、人家11戸が移転。
昭和20年 (1945) ～ 23年 (1948)
沼田地区上沼付近が活動、上沼が徐々に大きくなる。
昭和24年 (1949) 2月27日
松坂地区一帯がすべり、田畑5.8㌥が荒廃、人家14戸が移転。
昭和33年 (1958)
引牧地区住宅に地割れ発生、人家11戸が移転。地すべり防止区域に指定され、福島県が地すべり防止対策工事に着手。
昭和35年 (1960) 5月1日
滝坂自治区ほぼ全域に地すべり発生。各所に深さ30㌥程度の亀裂を生じ、笹川河道は押し出し土砂で閉塞。
昭和45年 (1970) ～ 49年 (1974)
昭和44年8月の集中豪雨で地すべり活動が活性化、阿賀川河岸部の隆起が顕著。
平成6年 (1994) 3月
袖の沢、沼田地区を中心に地すべり発生、阿賀川に土砂が流出。
平成8年 (1996)
建設省(現 国土交通省)の直轄事業になる。

対策事業の経過

滝坂地区では、昔から地すべりの被害を受けており、昭和24年の地すべり被害後、県などの関係機関へ対策要望を行いました。その後、昭和33

年度に地すべり防止区域に指定されたことから、福島県による地すべり対策事業が開始されました。

しかし、平成6年3月の融雪により地すべり活動が活発化し、各所で道路の段差や亀裂が生まれました。これにより

さらなる活動の活発化が心配されたため、平成8年度からは地すべり対策が国の直轄事業となり現在に至ります。

平成8年には、南部ブロックに位置する袖の沢排水トンネル(下写真)が福島県事業で完成し、その後平成16年度までは国により主に南部ブロックの集水井※が整備されました。平成17年度以降は北部ブロックに着手し、平成27年に北部排水トンネルが完成、現在は大石西山地区の排水トンネルと集水井の工事を行っています。



▲ 袖の沢排水トンネルの内部。延長は785㌥に及ぶ。



▲ 下沢の目地区の集水井

※集水井(しゅうすいせい)
地すべりを防止するために、地表からは排水できない地すべり面付近の深層の地下水を井戸に集めた後に排水するための設備。

銚子の口(令和4年4月撮影)



滝坂地すべりを考える ～公共・地域の安全に向けて～

滝坂地すべりの概要

■ 地すべりとは

地すべりとは、斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によって、ゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。移動する土の量が大きいため、甚大な被害を及ぼすことが多い災害です。また、一旦動き出すとこれを完全に停止させることは非常に困難です。日本では、地質的に地盤が弱いことに加え、梅雨・台風などの豪雨や雪解け水により、毎年各地で地すべりが発生しています。

■ 滝坂地すべり

日本最大級の地すべりといわれる「滝坂地すべり」は、新郷・豊洲地内の阿賀川と笹川の合流点右岸に位置し、南北約2・1㌥、東西約1・3㌥、面積約150㌥(さきゆり公園の約11倍)、最も深い地すべり面の深さは約140㌥、移動土砂量は約4800万立方㌥(東京ドーム約40杯分)の大きさと推定されています。3㌥の全景写真のように南部ブロックと北部ブロックに大きく区分され、これまで多くの対策事業が行われてきました。

地すべりの前兆現象

- ・ 地面がひび割れる、陥没する
- ・ 崖や斜面から水が出る
- ・ 井戸や沢の水が濁る
- ・ 樹木が傾く
- ・ 亀裂や段差が発生する

被害想定

仮に、滝坂地すべりの活動により銚子の口付近の河道※が塞がれると、阿賀川上流の浸水域が約53平方メートル（町面積の17割）拡大し、西会津町以外にも、喜多方市や会津坂下町、湯川村を含む約2400世帯に被害が及ぶと想定されています。この範囲には、磐越自動車道や国道49号、JR磐越西線が通っており、被災による影響は非常に大きいものになると予想されます。

また、その閉塞部が決壊して土砂が流出すると、下流域では、新潟県阿賀町において約21平方メートルの氾濫面積と約1600世帯への家屋被害が想定されます。

※河道（かどう）
「河川の流水が流れ下る部分。」

滝坂地すべりの活動により想定される被害範囲（提供：阿賀野川河川事務所）



対策事業による効果

滝坂地すべり対策事業が完了した場合、地すべりの活動が収まり、河道が塞がれたことに伴う上流への湛水※や下流への土砂流出などによる被害の恐れが解消されます。

現在、南部ブロックでは最大30メートル、北部ブロックでは最大50メートル以上の地下水位の低下が確認されています。設置さ

れた29か所の観測点（南部ブロック14か所、北部ブロック15か所）を基に比較すると、平成7年度には平均で年間22・8センチあった地表の移動量は、令和2年度には平均で年間1・7センチとなり大きく減少しています。

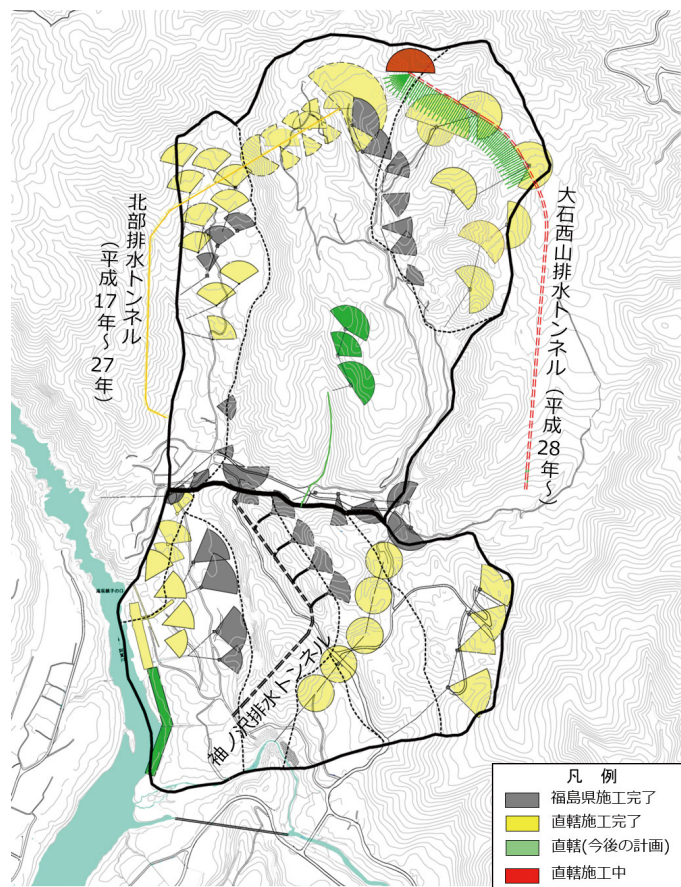
※湛水（たんすい）

河道閉塞（天然ダム）により上流側に水がたまって池のようになり、道路や家が水に浸かる被害が発生すること。

今後の対策事業

平成28年より、延長が1メートルを超える大石西山排水トンネルへの集水井の接続や、集水ボーリング工事を行っています。地すべりが比較的大きく確認されている北部ブロック中央部の排水や阿賀川護岸の対策を行えるよう、専門家の意見に基づいて、引き続き対策が進められます。

滝坂地すべり対策事業計画



（提供：阿賀川河川事務所）

事業期間は、昭和33年度（1958年度）から令和10年度（2028年度）としており、事業の進捗率は令和元年度（2019年度）末時点で全体の約82％。

公共・地域の安全に向けた活動

阿賀野川水系における関係自治体では、期成同盟会を組織し、国土交通省北陸地方整備局と国土交通省北陸地方整備局阿賀野川河川事務所に要望活動を行っています。

滝坂地すべり以外にも、県道上郷・下野尻線、県道新郷・荻野停車場線の整備や、国道49号の整備（会津防災事業）などの期成同盟会を組織しています。国や県との連絡体制を構築して町内のインフラ整備を図り、地域の安全確保に取り組んでいます。

町では、6月から7月にかけて、「県道上郷下野尻線及び新郷・荻野停車場線整備促進期成同盟会」と「阿賀野川水系直轄砂防・地すべり対策促進期成同盟会」による要望活動を実施しました。薄町長をはじめとする役員が北陸地方整備局などを訪問し、要望内容の説明や要望書の提出を行いました。



▲ 喜多方建設事務所を訪問

県道上郷・下野尻線及び新郷・荻野停車場線整備促進期成同盟会

新郷地区の自治会長と町及び町議会で組織する「県道上郷・下野尻線及び新郷・荻野停車場線整備促進期成同盟会」は、6月23日に町役場大会議室で総会を開催し、本年度の事業計画と予算を可決しました。

総会後には、会長の薄町長をはじめ、副会長や理事の7人が県道を管理する福島県喜多方建設事務所を訪問し、道路の拡張や消雪施設の整備における地域課題を盛り込んだ要望書を提出しました。

阿賀野川水系直轄砂防・地すべり対策促進期成同盟会

阿賀野川水系に位置する実川、馬取川流域（新潟県阿賀町）の直轄砂防事業及び滝坂地区の直轄地すべり対策事業が円滑に推進され、公共の安全と地域の振興に寄与することを目的に、本町をはじめ阿賀町、喜多方市と各議会、東北電力株式会社会津若松支社で組織された本同盟会の総会が、7月6日に町役場大会議室で開催されました。

総会では、令和元年度の総会以降、感染症拡大に伴い活動が休止されていた事業内容と収支決算が報告され、本年度の事業計画と予算、役員の改選が審議されました。役員改選は、薄町長を会長として副会長ほか全役員が再任となりました。

総会が終了すると、国土交通省北陸地方整備局阿賀野川河川事務所の堀内崇志所長が、今後の砂防・地すべり対



▲ 北陸地方整備局を訪問

策事業について説明を行いました。そこでは、「直轄地すべり対策事業開始前に観測されていた地表変動が、事業の進捗に伴い令和2年度には大きく減少している」といったこれまでの経過を踏まえた説明がありました。

7月11日には、国土交通省北陸地方整備局及び国土交通省北陸地方整備局阿賀野川河川事務所を訪問し、要望活動を行いました。新型コロナウイルス感染症対策により会長、副会長、理事の計4人に制限した活動となりました。

今後の対策事業

平成28年より、延長が1メートルを超える大石西山排水トンネルへの集水井の接続や、集水ボーリング工事を行っています。地すべりが比較的大きく確認されている北部ブロック中央部の排水や阿賀川護岸の対策を行えるよう、専門家の意見に基づいて、引き続き対策が進められます。

それぞれに会長の薄町長が要望内容を説明し、局長および所長が要望書を受け取ると、「本事業の重要度は非常に高く、着実に進んでいる。専門家の意見を聞きながら、さらに事業を進めていく」との回答を受けました。



▲ 北陸地方整備局へ要望



▲ 阿賀野川河川事務所へ要望

「問い合わせ先」

建設水道課 管理係
☎ 45—4530

西中図書館 新刊オススメ本



『80歳の壁』
[和田秀樹 著]
幻冬舎

人生100年時代といわれる昨今は、健康寿命の平均は男性が72歳、女性が75歳。

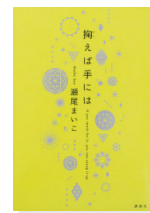
「80歳の壁」は高く厚いが、壁を超える最強の方法がある。それは、嫌なことを我慢せず、好きなことだけをする。こと。「食べたいものを食べる」「血圧・血糖値は下げなくていい」「がんは切らない」「薬は必要最小限に」など、今すぐに実践できる、日々を幸せに暮らすためのヒントが満載です。80歳を超えた人は高齢者ではなく「幸福者」。これから生きていくこと、年を取ることに前向きになれる一冊です。



『ロシア点描』
[小泉悠 著]
PHS 研究所

『紙バンドで楽しむ四つたみ・花結びの教科書』

[古木明美 著]
日本ヴォーグ社



『握えば手には』
[瀬尾まいこ 著]
講談社



『よって件のごとし』
[宮部みゆき 著]
KADOKAWA

子どもから大人まで、楽しくプレー！ 第25回町民グラウンドゴルフ大会を開催

8月6日、さゆり公園多目的広場を会場に町青少年健全育成町民会議・町公民館・町体育協会主催による第25回町民グラウンドゴルフ大会が開催されました。今大会には、一般の部に49人、小学生の部に6人、ペアの部3組の総勢61人が参加しました。

グラウンドゴルフは、各ホールの合計打数により順位を競う競技で、老若男女誰でも気軽にできるニュースポーツとして人気が高く、町公民館ではさまざまな生涯学習講座で取り入れています。

当日は爽やかな風が吹く中、全14チームに分かれて16ホールを回りました。プレー中には、ベテランの参加者が小学生にボールの打ち方やルールを教えながらゲームを進める場面も見られました。短い時間ではありましたが、子どもから大人まで世代を超えた交流や、町民の体力の向上と健全な体育の振興が図られた大会となりました。



第25回町民グラウンドゴルフ大会 大会結果《敬称略》

【一般の部】

優勝

三留 傳一（下野尻）

第2位

阿部 テイ子（4町内）

第3位

山本 文夫（森野）



【ペアの部】

優勝

鈴木 陽翔・崇之 ペア

第2位

水野 春輝・正道 ペア

第3位

長谷川 里桜・

平野 マチ子 ペア



【小学生の部】

優勝

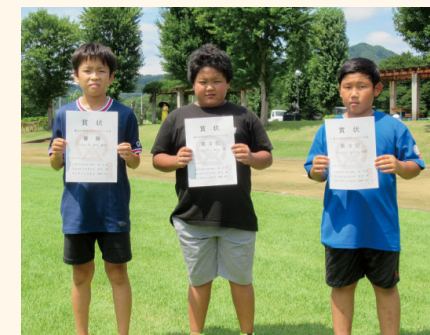
渡部 駿佑（西小6年）

第2位

福井 響（西小5年）

第3位

長谷川 琥春（西小4年）



町民ギャラリー フォトクラブどんぐり

今月は、フォトクラブどんぐり・
武藤喜平さん（柴崎）の作品です。

📷 作品名 『峠道』

📷 作品紹介

撮影場所は上谷・程窪地内で、早春の頃の朝方に通りかかった時、偶然にもこの風景に出会いました。朝日の光が斜光で峠道を照らしている様子は光と影のバランスが良く、遠くかなたに飯豊山を望む峠道はなんともいえない風景でした。

今度は初雪の降る頃にもう一度カメラのシャッターを切りたいです。





お気軽に相談ください

秋の行政相談・人権相談を行います

10月17日から23日は「行政相談週間」です。町では、特設行政相談所を開設し、役所や特殊法人などの仕事に対する苦情や意見、要望を受け付け、解決のお手伝いをします。

また、併せて特設人権相談所を開設し、人権問題に関する相談などに応じます。相談は無料で秘密は堅く守られます。なお、相談にお越しの際はマスク着用のご協力をお願いします。

◆行政相談委員 田崎宗作さん（小杉山）

◆人権擁護委員 長澤文子さん（芝草）、貝沼利則さん（呼賀）、長谷川成博さん（梨平）

◎ 10月12日（水）

午前9時30分～正午 新郷連絡所
午後1時～3時30分 奥川みらい交流館

◎ 10月13日（木）

午前9時30分～正午 保健センター
午後1時～3時30分 町役場（第1委員会室）

〈問い合わせ先〉

（行政相談）総務課 行政管理係 ☎ 45-2211

（人権相談）町民税務課 町民生活係 ☎ 45-2215



あなたの写真を載せてみませんか？

町民健康カレンダーの写真を募集します！

令和5年版・町民健康カレンダーに掲載する写真を募集します。皆さんの自慢の作品をカレンダーに載せてみませんか。ぜひ応募ください。

◆募集する写真のテーマ

『わたしの作品』

町民の皆さんのさまざまな作品を募集します。風景写真・絵画・手芸などジャンルは問いません。

◆募集する写真

○町内の個人（団体）が撮影・制作した作品で、カラー、モノクロは問いません。

○デジタルカメラや携帯電話、スマートフォンなどで撮影したJPEGデータ、またはすでに現像、プリントした写真（2L判以上）。

◆応募方法

○町役場総務課総務係または奥川支所まで、写真とともに「住所」「氏名」「連絡先」「作品のタイトル」「撮影場所（風景などの場合）」「簡単な説明」を添えて、メール、郵送または直接持参ください。

○応募は1人（1団体）5点以内とします。

◆応募締切

10月14日（金）

〈問い合わせ先〉

町役場奥川支所

☎ 49-2001

✉ okugawa@town.

nishiaizu.fukushima.jp



▲令和4年版より

以下は有料広告です。詳細は広告主に問い合わせください。

有料広告を募集しています

紙面に掲載する有料広告を募集しています。詳しくはお問い合わせください。

◆大きさ 1枠当たり縦4.0cm×横8.5cm

◆掲載料 1枠当たり5,000円/月

〈問い合わせ先〉

企画情報課 広報広聴係 ☎ 45-4536

町議会議員として議長などの要職を歴任

故 三瓶尊徳さんに叙位・正六位を伝達

今年3月10日に亡くなった元町議会議員の三瓶尊徳さん（新町）への叙位伝達式が、9月1日に町役場で行われました。式では、会津地方振興局の高野武彦局長から三瓶さんの長男である達也さんに正六位の位記が伝達され、薄町長が「町の発展の土台となるご功績に感謝とお祝いを申し上げるとともにご冥福をお祈りします」とあいさつしました。

三瓶さんは、昭和50年7月から平成15年6月までの7期28年にわたって町議会議員を務め、町政発展に貢献されました。また、任期中には町議会議長や総務常任委員長を歴任し、適正な議会の運営に尽力されました。



町議会議員や民生児童委員など多分野で活躍

渡部昌さん 叙勲・旭日単光章を受章

9月1日、元町議会議員の渡部昌さん（上野尻）への叙勲伝達式が行われました。式には、渡部さんと妻の和子さんが出席し、はじめに会津地方振興局の高野武彦局長から勲記と勲章の伝達が行われた後、薄町長から祝福の言葉が贈られました。

渡部さんは、平成11年7月から23年6月までの3期12年にわたり町議会議員を務めました。このほかにも民生児童委員や教育委員など多くの分野で活躍し、町の経済や教育分野の発展に貢献されました。



長寿を祝い賀寿を贈呈

藤原ツユさん 満100歳に

8月27日に藤原ツユさん（下野尻）が満100歳を迎え、同日、下野尻集会所で賀寿贈呈式が行われました。当日は、多くの親族をはじめ、薄町長や荒海清隆町老人クラブ連合会長が出席し、藤原さんに百寿のお祝いとして賀寿や記念品などを贈りました。また、ひ孫の佐藤奈奈さんが「私たちひ孫もいっぱい会いに行くからたくさん長生きしてください」とお祝いの言葉を述べました。

町内の100歳以上の高齢者数は、藤原さんを含めて15人となりました。〔令和4年9月12日現在〕





西会津町の秋の「楽しみ」がぎゅっと詰まった2日間 11月5日、6日は「西会津ふるさとまつり」



11月3日(木・祝)から
体育館展示がプレオープン!

第37回を数える秋の恒例イベント「西会津ふるさとまつり」が11月5日、6日に開催されます。

恒例の「桐ゲタ投げ全国大会」、「にしあいづ紅葉ウォーク」のほか、お笑い芸人やアーティストによる笑いあり音楽ありの「さゆりラフ&ミュージックフェス」、福島レッドホープス選手による野球教室やファン感謝祭、謎解きをする「Nートレジャーハント」など楽しいイベントが盛りだくさんです。さらに今年は、直感的な操作で子どもからお年寄りまで楽しめる「eスポーツ体験コーナー」も新たに開催します。

また、町のおいしい米の魅力を発信する「西会津うまい米コンテスト」、西会津の秋の味覚が味わえる「農家レストラン」や「新そばまつり」、さらには町内外からさまざまなグルメが出店コーナーに軒を連ねます。

感染対策の上、西会津ふるさとまつりにぜひご来場ください。

〈問い合わせ先〉

町ふるさと振興推進委員会
事務局(商工観光課内)
☎ 45-2213

【メインステージイベント】

- ◆ 11月5日(土)
 - 9:00～ オープニングセレモニー
 - 10:00～ 民俗芸能と民謡の集い
 - 11:00～ さゆりラフ&ミュージックフェス New!
- ◆ 11月6日(日)
 - 9:00～ にしあいづ紅葉ウォーク 参加者募集!
(共催:第14回いきいき健康ウォークin西会津)
 - 10:00～ 丞神デナー SHOW!! (1回目)
 - 10:45～ 小田島あつみ歌謡ショー 参加者募集!
 - 11:30～ 第23回桐ゲタ投げ全国大会
 - 13:00～ 丞神デナー SHOW!! (2回目)
 - 13:30～ 福島レッドホープスファン感謝祭
 - 14:30～ 西会津ふるさと大抽選会

【メインステージ以外のイベント】

- ◆ 両日開催
 - 10:00～ Nートレジャーハント
 - 10:00～ ミニSL
 - 10:00～ 至福のスイーツマウンテン
- ◆ 11月6日(日)
 - 9:30～ 福島レッドホープス野球教室 参加者募集!
 - 10:00～ eスポーツ体験コーナー New!
※詳細は配布されるチラシを確認ください。

お知らせ INFORMATION

ケーブルテレビ さゆりチャンネル 10月の放送案内

◆西会津の昔語り 第二巻

西会津語りの会の皆さんによる昔語りの第2シリーズをお届けします。

※にしあいづニュースワイドで放送します。

〈問い合わせ先〉

(二社)西会津ケーブルネット
☎ 45-4461



国保の手続きは 済んでいますか？

職場の健康保険に加入または脱退した時は、14日以内に国保の変更手続きを行ってください。手続きは同世帯の家族でも可能です。

◆手続きが遅れると…

国保税が請求され続けたり、一度に納める税額が高額になる場合があります。また、国保の資格喪失後に誤って国保の保険証で医療機関を受診した場合、国保が負担した医療費を返還する必要があります。

〈問い合わせ先〉

健康増進課 国保係
☎ 45-4532

ひとり親家庭の 医療費を助成

町では、18歳までの子どもがいる父子・母子家庭などに對し、所得に応じて医療費の一部を助成しています。受給

不在者投票制度 のお知らせ



不在者投票制度とは、仕事や旅行など一定の事由に該当し住所外に滞在している人で、投票日前にできない場合に、投票日前に滞在地の市町村選管などで投票することができる制度です。

◆投票が可能なる事由

①仕事、学業、本人または親族の冠婚葬祭などに従事

にしあいづ地域包括支援センター 出張相談会のお知らせ



にしあいづ地域包括支援センターでは、高齢者とその家族の生活に関する相談を受け付けています。今回、下記の日程で出張相談会を開催します。「介護や福祉のサービスについて知りたい」「認知症に関することを聞きたい」「家族の介護が大変で疲れてしまった」「近所のお年寄りに気になる方がいる」など、気になることがありましたら気軽にお越しください。相談は無料で、秘密は厳守します。

- ◆日時 10月22日(土) 午前9時30分～11時30分
- ◆会場 にぎわい番所ぷらっと(旧野口燃料店)

〈問い合わせ先〉

にしあいづ地域包括支援センター ☎ 45-3327

◆投票方法

投票方法は、該当する事由や滞在する場所などによっても異なります。また事前の確認や手続きが必要な場合がありますので、詳しくは町選挙管理委員会まで問い合わせください。

〈問い合わせ先〉

町選挙管理委員会
☎ 45-2211



これらの時期は、冬眠するためのエサを求めて人里周辺にクマが出没する可能性があります。

クマの誘因物 管理のお願い

農林振興課 農政係
☎ 45-4531

〈問い合わせ先〉

○ほ場への進入、脱出時、畦越え時は特に注意する
○道路を走行する際は安全な速度で移動する など

◆次の点に注意しましょう
○安全確認を行い、誤操作を起こさないよう注意を払い作業する

◆次の点に注意しましょう

秋の農作物の収穫時期を迎えています。農作業中の事故は、農作業機械を使用する際の不注意や、操作の誤りが原因で発生しています。ゆとりある計画的な作業を心掛け、事故防止に努めましょう。

秋の農作業事故に 注意しましょう

農林振興課 林政係
☎ 45-4531



マイタケ、ナメコ、ムキタケ、クリタケを除く野生キノコは全て出荷制限品目に指定されており、出荷できません。昨今、フリマアプリなどを介した個人売買による野生山菜・キノコの出荷も確認されているため、利用する際は十分に注意してください。

野生キノコなどの 出荷における注意

農林振興課 林政係
☎ 45-4531

〈問い合わせ先〉

高まります。クマのエサとなる米ぬかや生ゴミなどは屋外に放置しないでください。また、屋内に保管してある米ぬかなどを狙って、屋内に進入する事例も発生していますので、玄関や窓の戸締りを忘れないようにしましょう。

農林振興課 林政係
☎ 45-4531

県会津農林事務所
森林林業部 林業課
☎ 0241-24-5734

〈問い合わせ先〉

◆採取量
基本的に町内全域から満遍なく採取し、1検体当たり500gから1000g程度

◆採取量

令和4年12月まで
◆対象品目
ナラタケ、ヒラタケ、ブナハリタケ

◆採取予定期間

期間中は県から委託を受けた業者が山に入り、山菜や野生キノコを探索、採取しますので、ご理解とご協力をお願いします。

◆採取予定期間

県では、山菜・野生キノコの出荷制限解除に向けた取り組みの一環として、次により町内で検体の探索と採取を計画しています。

農林水産物緊急時 モニタリング事業 を実施します

後期高齢者医療 制度の加入者の 皆さんへ

令和4年10月1日から 医療費の窓口負担割合が変わる 場合があります

◆75歳以上の人などで一定以上の所得がある場合、医療費の窓口負担割合が「2割」に変わります

○今回、窓口負担割合が「2割」と記載された被保険者証が交付された人は、令和4年10月1日から窓口負担割合が2割となります。
○被保険者証を提示するときは、「有効期限」を必ず確認し、10月以降は新たに交付された被保険者証を使用ください。

◆医療費の窓口負担割合が2割となる人には負担を抑える配慮措置があります

○令和4年10月1日から令和7年9月30日までの間は、外来医療の窓口負担割合の引き上げに伴う1カ月の負担増加額を3,000円までに抑えます。
○払い戻しのために口座の登録が必要です。登録が済んでいない対象者には、福島県後期高齢者医療広域連合より申請書を郵送します。

問い合わせ先はこちら

福島県後期高齢者医療広域連合
☎ 024-528-9025
町健康増進課 国保係
☎ 45-4532

◆なりすまし詐欺に注意してください！

○厚生労働省や市町村が、電話や訪問で口座情報の登録をお願いすることや、キャッシュカード、通帳などを預かることは絶対にありません。
○ATMの操作をお願いすることは絶対にありません。
○不審な電話があったときは、喜多方警察署（☎ 0241-22-5111）などに問い合わせください。

運転免許証の 自主返納を 支援します

町では、車の運転に不安のある高齢者の運転免許証の自主返納を促進し、高齢運転者による交通事故の減少を図るため、運転免許証自主返納支援事業を実施しています。

◆対象者

運転経歴証明書が発行された65歳以上の人

※運転経歴証明書は警察署で交付申請手続きを行ってください。運転免許の更新をせず失効した人も、運転経歴証明書が発行できます。

◆支援内容

町民バス回数券・タクシー利用券・町共通商品券を交付します。

この支援事業の申請を希望する場合は、左記まで問い合わせください。

〈問い合わせ先〉

町民税務課 町民生活係
☎ 45-2215



以下は有料広告です。詳細は広告主に問い合わせください。

有料広告を募集しています

紙面に掲載する有料広告を募集しています。詳しくはお問い合わせください。

◆大きさ 1枠当たり縦4.0cm×横8.5cm
◆掲載料 1枠当たり5,000円/月

〈問い合わせ先〉
企画情報課 広報広聴係 ☎ 45-4536

自慢の米を大募集！「西会津一うまい米コンテスト」

町では、西会津産米のおいしさを客観的に評価し、町内外への情報発信を通じ、町内産米の知名度向上と販売強化につなげるため、今年も「西会津一うまい米コンテスト」を開催します。手塩にかけて育てた自慢の米をぜひ出品してください。

◆部門

◎コシヒカリ部門＝町内産コシヒカリ
◎こだわりの品種部門＝上記以外の町内産米

◆出品方法

参加申込書および出品する玄米500g（約3合）を10月19日（水）までに提出

◆審査方法

◎一次審査

食味計と整粒検査で測定し、上位5点が二次審査へ進みます。5点に選ばれた場合、同じほ場の玄米5kgを提供してもらいます。「こだわりの品種部門」は最上位に選ばれた米を奨励賞として二次審査は行いません。

◎二次審査

食味値上位5点の米を審査員が実食し、最優秀賞1点と優秀賞4点を決定します。

〈申込・問い合わせ先〉

農林振興課 農政係 ☎ 45-4531



令和4年度 除雪臨時技能員 を募集します

町では、令和4年度除雪臨時技能員の採用候補者試験（面接）を行います。希望者は、期日までに下記担当へ関係書類を提出してください。

〈提出・問い合わせ先〉

建設水道課 管理係 ☎ 45—4530



業務内容	除雪機械の運転による道路の除排雪業務 町が指示する道路の維持補修等の業務
資格要件	普通自動車免許・大型特殊免許の所有、車輛系建設機械運転技能講習終了（整地・運搬・積込用および掘削用） ※65歳定年があります。
採用人数	1名
採用期間	令和4年12月1日～令和5年3月31日
勤務地	奥川みらい交流館（奥川地区）

提出書類	履歴書、各種免許（資格）証のコピー
提出期限	令和4年11月9日（水）午後5時まで （土日を除く執務時間中）
面接日時	令和4年11月14日（月）午後1時30分 ※別途通知はしません。町役場3階第2委員会室に午後1時15分までに集合してください。
面接場所	西会津町役場 3階会議室
選考方法等	書類審査および面接により選考し、結果は採用候補者本人に通知します。

国民健康保険税の 減免および軽減

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた世帯への減免

新型コロナウイルス感染症により、主たる生計維持者の事業収入などに相当の減少がある世帯に属する国保加入者の人は、申請により国保税の減免を受けられる場合があります。

◆対象世帯

主たる生計維持者の事業収入等（不動産収入、事業収入、給与収入および山林収入）の減収が見込まれ、次の要件の全てに該当する世帯

○主たる生計維持者の事業収入などのいずれかの額が、前年の当該事業収入などの額よりも3割以上減少していること

○主たる生計維持者の前年の合計所得金額が1000万円以下であること

○主たる生計維持者の減少することが見込まれる事業収入などに係る所得以外の

前年の所得の合計金額が400万円以下であること

◆減免の内容

国保税の全額または一部

◆申請期限

令和5年3月31日（金）まで

倒産や解雇、雇い止めなどに

よる離職（非自発的失業者）に対する軽減

倒産や解雇などやむを得ない理由で離職された人は、申請により国保税が軽減される場合があります。

◆対象者

○離職日時点で65歳未満の人

○雇用保険の失業等給付を受ける人で、「雇用保険受給資格者証」の離職理由コードが、11、12、21、22、23、31、32、33、34のいずれかに該当する人

◆軽減の内容

国保税は前年度所得などを基に算定されますが、軽減に該当した場合は、離職者の前年度給与所得を3割に減額した額と見なして算定します。

◆軽減期間

離職した翌日から翌年度末まで

※なお、介護保険制度（福祉介護課 ☎ 45—2214）や、後期高齢者医療制度（健康増進課 ☎ 45—4532）も同様の減免制度があります。詳しくは各担当までお問い合わせください。

〈申請・問い合わせ先〉

町民税務課 税務係

☎ 45—2212

西会津町消費 復活商品券を 配付しています

町では、新型コロナウイルスの影響により落ち込んだ個人消費の喚起と町内経済の活性化を図るため、町民一人当たり5000円の「西会津町消費復活商品券」を配付しています。ゆうパックで9月中旬より順次配付しているため、地区や家庭により配付時期が異なりますので注意してください。

◆対象者

令和4年8月1日に西会津に住民票がある人が対象です。

生理用品を 無償配布します

長引くコロナ禍において、さまざまな事情で生理用品を手に入れることが困難な人に対し、生理用品の無償配布を行います。

◆配布内容

生理用ナプキン1パック（昼用22枚入）

※配布は1人2セットまで。

※在庫がなくなり次第終了。

◆配布日時

10月3日（月）から
午前8時30分～午後5時15分（平日のみ）

◆受取方法

町役場福祉介護課窓口で、本紙記事または町ホームページ掲載記事をスマホなどで女性職員に提示してください。
※配布時に氏名や住所の確認は行いません。

〈問い合わせ先〉

福祉介護課 福祉係
☎ 45—2214

8月2日以降に転入、出生した人は対象になりません。

◆利用期限

令和4年12月31日まで

◆利用できる事業所

○同封している「西会津町消費復活商品券・取扱店一覧」に記載のある事業所などで利用できます。詳細は、町ホームページでも確認できます。

○利用できる事業所などには「西会津町消費復活商品券取扱店」の表示がありますので、利用時に確認してください。

○新たに商品券の取り扱いを希望する事業者は、西会津

西会津町給食センター デジタル見学ツアー④

町学校給食センターでは、西会津小学校と西会津中学校の給食（340人分）を、調理員8人・栄養士1人で心を込めて作っています。今回は、子どもたちに大人気の「鶏肉のから揚げ」の調理動画を作成しました。下記QRコードから視聴できます。



3R（スリーアール） 推進月間

国では、循環型社会の構築に向け3R（スリーアール）の取り組みを推進しており、10月はその推進月間です。

限りある資源を未来の世代につないでいくため、買い過ぎを控える、物を大切に使うなど、日々の生活を見直してみませんか。

◆3R（スリーアール）とは

Reduce
～減量～
リデュース（ごみの発生や資源の消費を減らすこと）

Reuse
～再使用～
リユース（物や資源を繰り返し使うこと）

Recycle
～再生～
リサイクル（資源として再び使うこと）

◆食品ロス削減推進月間

10月は3Rの推進だけでなく、食品ロス削減の推進月間でもあるため、「食べ残しをしない」「食材をできるだけ

消費復活商品券（見本）



町商工会に問い合わせください。

〈問い合わせ先〉

◎商品券の取扱全般、取扱事業者に関すること
西会津町商工会
☎ 45—3235

◎商品券事業全般、配達関係に関すること
商工観光課 商工観光係
☎ 45—2213

西会津国際芸術村 公募展2022

無駄にしない」などの取り組みをできる範囲で実践してみよう。

〈問い合わせ先〉

町民税務課 町民生活係
☎ 45—2214

西会津国際芸術村では、今年で17回目を迎える公募展を開催します。今回は新たに15歳以下の部門を設けるなど、幅広い年齢層から作品を募集し、100点を超える作品の応募がありました。

開催期間中は応募作品を見ることができ、この機会に個性豊かな芸術作品に触れてみませんか。

◆開催日時

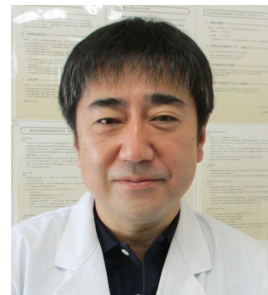
10月8日（土）～30日（日）
午前10時～午後5時
※最終日は午後3時まで。
※会期中は無休です。

〈問い合わせ先〉

西会津国際芸術村
☎ 47—3200



さゆり調剤薬局・管理薬剤師 能登谷明彦さんに聞く！



10月17日～23日は「薬と健康の週間」です。今回は、医薬品を正しく使うことの大切さについて、さゆり調剤薬局・管理薬剤師の能登谷さんにインタビューしました。

有限会社日本メディカル
さゆり調剤薬局 管理薬剤師
の と や あきひこ
能登谷 昭彦 さん

健康増進課 健康支援係
た さ き み き こ
田崎 美記子 保健師



お薬のことをよく知ろう！

なぜお薬手帳は1冊にまとめて管理した方が良いのですか？

お薬手帳は薬局や病院ごとに配付されることがありますが、1冊にまとめることで患者さんが使用する**お薬の全体に薬剤師が目を通し、重複投薬や飲み合わせの不適正に気付くことにつながる**からです。



最近話題になっている「ポリファーマシー」について教えてください。

聞きなれない言葉だと思いますが、直訳すると「多くの薬」ということで、多くの薬を服用しているために副作用が起きるなど飲み合わせの中で害をなすものを表します。しかし、**多くの薬を服用することは決して悪いことではありません**。こうしたポリファーマシーを減らしていくことが私たち薬剤師の責務と考えています。

市販薬を使用する「セルフメディケーション」について教えてください。

具体的には、医師の処方による病気を治す薬というより、体調管理や生活の質を良くするためドラッグストアなどの市販薬を補助的に使用するなどのことですが、**時には自分自身で判断がつかない場合があると思います。その時に適切なアドバイスと一緒に考えることなどができたらよいと思います**。

能登谷薬剤師が
町民の皆さんに
伝えたいポイント

- ①処方薬は飲み忘れなく、しっかり飲んでください。
- ②家族や友人と薬のやり取りはせず、自分の薬は自分で使いましょう。
- ③薬のことであれば、気軽に何でもご相談ください。



さゆり調剤薬局 職員
齋藤 幸子さん

さゆり調剤薬局に勤務して10年になる齋藤さん。職員健診でコレステロール値が高めになったことがきっかけで、糖分と脂っこい物を控えるようにしたところ、3月の検診で着実に成果が上がっていました。薬局で患者さんと接することで、薬に頼り過ぎず適正に使用することの大切さを見てきたため、「病気の発症予防や重症化予防には、まずは自分でできることから実践して試みるのが大切」だと実感しているそうです。股関節が悪いこともあり、今後はできるだけ歩くことや筋トレに挑戦してみたいと話していました。

今月のさすけねえ輪
実践者



集落支援だより

皆さんこんにちは！

地域おこし協力隊1年目の星野壮祐です。
今月の集落支援だよりでは、8月に西会津町に訪れたたくさんの大学生の活動についてお届けします。



地域おこし協力隊 集落支援担当
ほしの そうすけ
星野 壮祐 隊員

全国から医学生が集結

8月7日～13日まで、全国から集まった8人の医学生が西会津町に滞在しました。「地域医療合宿」と題して学生たちが自主的にメンバーを集め、宮城県や岩手県のほか、鹿児島県など遠方からも参加者がありました。

学生の皆さんは、町役場健康増進課の皆さんの協力を受けながら、西会津町授産場やケーブルテレビ、弥平四郎集落のサロンなどを見学しました。学校での学びとは異なる体験型の学習を通して、「いい刺激になった」と活き活きした様子が見られました。

ほかにも、滞在期間中には夕方からゲストスピーカーの講演を受けました。講師は日替わりで、西会津国際芸術村の矢部佳宏さんや西会津町最高デジタル責任者の藤井靖史さん、薄友喜町長などから講話を受け、普段とは異なる視点から「地域医療」について考えるきっかけとなったようでした。

参加した医学生と集落支援拠点施設の前で記念撮影



今回訪れた医学生のほとんどが福島県に初来県だったこともあり、聞きなれない方言や初めて見る郷土料理を楽しんでいるようでした。中でも「くじら汁」と「えご」は県内でも西会津町近辺でしか伝承されていないため、私自身も初めて見る料理でした。医学生の皆さんにとって、今回の活動は皆さんの「はじめ」を体験できた貴重な機会になりました。

今回の医学生の受け入れにご協力いただいた皆さん、ありがとうございます。

芸大生による作品展示

8月17日～24日にかけて、東京藝術大学や武蔵野美術大学、多摩美術大学の学生計6人が西会津町を訪れました。このうち4人は、以前にも何度か町を訪れており、地域の皆さんとの久しぶりの再会を喜んでいました。

今回の主な活動は、奥川地区中町集落の権現堂というお堂をアート作品として展示することです。まずは、町内で採取したさまざまな草花を使い、「草木染め」という手法で布を染めあげました。次に拾った木の枝で炭を作り、草



草木染めの様子

地域の皆さんも作品の制作を通して、楽しく交流することができました。

作品の完成後は、この権現堂を一目見ようと多くの皆さんが足を運びました。制作に携わった学生の皆さんはもちろん、地域の皆さんも集落に新たな価値（作品）が生まれたことを喜んでいました。

※作品はすでに撤去済みですので観覧できません。



完成した権現堂の作品

木染めで着色した布に思い思いに絵を描く「ドローイング」という工程が行われました。今回の活動では、作業工程のほとんどを地域の皆さんと共同で行ったため、学生も

戸籍の窓口

(8月受付分)

■ まちの人口

	9月1日現在	(前月比)
人 口	5, 7 4 6 人	(- 7 人)
男	2, 7 9 3 人	(- 4 人)
女	2, 9 5 3 人	(- 3 人)
世 帯	2, 5 3 7 世帯	(- 2 世帯)

■ お誕生おめでとう

清水 ^{やまと} 和くん 啓佑・祥恵 芝草

清野 ^{かりん} 夏鈴ちゃん 淳・綾子 大久保

■ お悔やみ申し上げます

佐藤 善子 (88)	廻 香 叔母	5 町内
内藤 靖彦 (75)	豊子 夫	7 町内
江川 ヤイ子 (92)	誠 母	牧
佐藤 齊 (99)	一 父	下小島
長谷川ヤス子 (92)	竹美 母	下野尻
仲川 ケイ子 (84)	久人 母	呼賀
佐藤 信子 (84)	広悦 母	滝坂
長谷川 勝弘 (67)	史佳 父	戸中
武藤 キヨ (84)	賢吾 母	新町



さゆり公園のコスモス (令和3年10月撮影)

Dream

聞いて！わたしの夢



[2年・野球部 部長]

つかはら つばさ
塚原 大翔 さん

◆私の夢――

僕は将来、I C T関係の仕事に就きたいと思っています。そう思うようになったきっかけは、テレビ番組にロボットクリエイターの高橋智隆さんが出演していて、高橋さんが作ったロボットが小さいのに、さまざまな機能が付いていてすごいと思ったからです。

◆努力していること――

I C T関係の仕事に就くために、校長先生が日頃から言われている「凡事徹底」「利他共生」を忘れずに心掛けています。

◆未来の自分に一言――

楽な方、簡単な方に逃げずに、しっかりと最後まで頑張れ!!

Person

町民バトンタッチ

た さ き ま さ こ
田崎 真子 さん [出ヶ原]

◆趣味は？

書道、出ヶ原和紙作り。今年から和太鼓も始めました。

◆特技は？

いつまでも悩まないこと

◆熱中していることは？

書道や和太鼓は上達しないけど楽しいです。

◆自分を一言で表現すると？

単純。占いに「ずっと中学生のまま」と書いてあった。

◆あなたのモットーは？

どうせなら満足して生きたい。感謝の気持ちを忘れずに。

◆最近感動したことは？

蔵と小屋の荷物を断捨離できたこと。

◆これからやってみたいことは？

旅行や公演などで見聞を広げたい。

◆次の方を紹介してください

M・Uさん

とっておきの物は？

自分時間の部屋。いろいろな方々からいただいた物や思い出の物の中で、たくさんの人に支えられてきたことを実感しました。



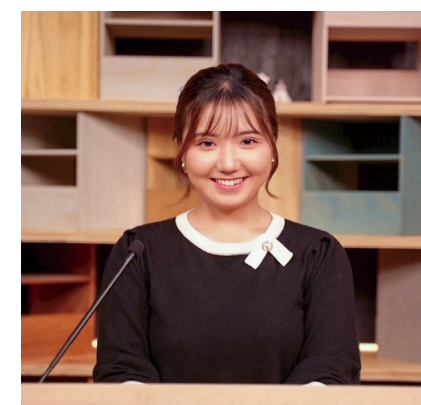
佐藤 まゆみ さん (9月号) からメッセージ

お話するといつも楽しいです。これからも仲良くしてください。



Column

協力隊リレーコラム



いのうえ まな み
井上 愛海 隊員

埼玉県出身。大学時代は、埼玉女子短期大学エアライン専門ゼミで安座自治区のおとめゆり保護活動などに携わる。

地域おこし協力隊2年目の井上愛海です。夏は半袖焼けに悩まされ、冬は雪に埋もれそうになりながらも、温かい地域の皆さんに支えられ、楽しく刺激的な日々を送っています。特に、たくさん野菜やお米などをくださる皆さん、毎日美味しいご飯が食べられて幸せです！ありがとうございます！
現在取り組んでいる番組制作・アナウンサーの活動では、町民の皆さんの視点を大切にしながら、「伝えるべき情報」と「自分が感じたこと・伝えたいこと」が伝わる番組作りができるよう意識して頑張っています。また、私がそうだったように、今の大学生たちの卒業後の選択肢のひとつに「移住」「地域おこし協力隊」というものを増やしたいと考えており、母校である埼玉女子短期大学の学生の皆さんとの繋がりを大切に、町での活動のサポートなども行っています。今後も、町と人、人と情報をつなげるパイプ役として頑張っていきたいです！

2年目！西会津

地域に伝わる伝説や民話、文化財などを紹介

にしあいづ物語100選

その66

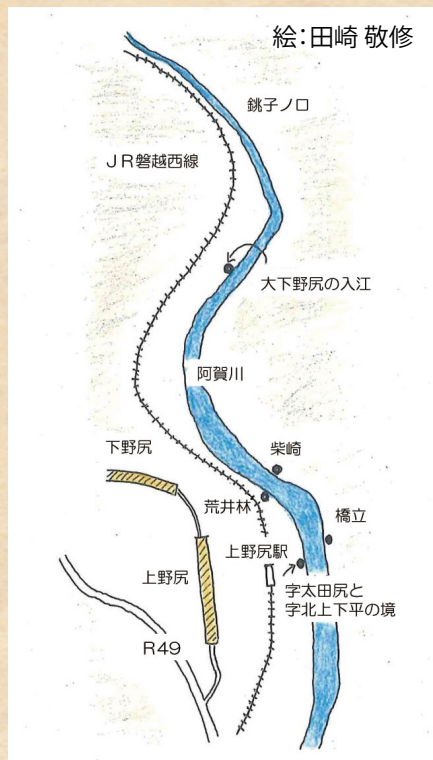
文：田崎 敬修

野尻の繁栄と船着き場の変遷

会津藩の廻米（遠隔地へ米を輸送すること、またはその米）は陸運と舟運で行っていました。陸運は白河街道など複数の陸路（途中から河川も）で江戸に、舟運は阿賀川と日本海などで大坂に輸送していました。経済の比重が大坂から江戸に移るにつれて舟運の廻米は減少し3万俵程度でした。舟運は、阿賀川が浅く川幅も狭いため小型の鳥飼船しか使えず、さらに利田の滝（現在の喜多方市高郷町）と銚子の口の2カ所は通船不可能で、荷を積み直し、次の船着き場まで陸送しなければならない難儀がありました。

積み直しの船着き場は何カ所もありましたが、他所は舟運のみであったのに対し、野尻は越後街道の陸運の駅所でもあったため大変な繁盛でした。江戸時代の初めは、下野尻の天下野尻（現在の端村自治区）近くの入江周辺に船着場があったと考えられています。時代が進むにつれて野尻の船着場は、「荒井林付近」「字太田尻と字北上下平との境付近（JR上野尻駅裏手の川岸）」と、次第に上流の上野尻の方に移っていきます。対岸の柴崎・橋立からは利田の滝を回避しそのまま陸送されてきた廻米や、山三郷の廻米の一部が野尻に舟で横渡し（柴崎→天下野尻、柴崎→荒井林（旅人はこのルート）、橋立→字太田尻と字北上下平の境）されていました。この横渡しも時代が進むと橋立が中心になります。船着き場の移動の理由は、大水による船着き場の損傷などが一般的に考えられていますが、船着き場の上流新設の願文には、「蔵や番所の修繕がなされてなく、荷揚げの道が抜け落ち」などという文言はありますが、「洪水で使えなくなった」という明確な文言は見当たりませんので他の理由もあったのではないのでしょうか。

その時代の野尻側の中心的な船着き場のことを「中島」と呼んでいましたが、他の船着き場が全く使われなくなった訳ではなくさまざまな状況（水量や利便さなど）により利用されていたようです。



今月の表紙

今月は、橋屋自治区のソバ畑です。沈む夕日に照らされたソバの花が、風に揺られて幻想的な風景を作り出していました。

編集後記

今月号で特集した「滝坂地すべり」の対策事業に出てくる排水トンネルや集水井の写真は、実は一昨年の4月に私が撮影したものなんです。当時は、広報紙担当になって間もない頃で、「何かに使う時があるかも…」と思い、他の課の現場視察に同行させていただきまして。内部はひんやりと涼しくて、どこまでも長いトンネルが続いていたことを思い出します。今回の特集記事で2年越しに掲載することができて嬉しいです。

取材などで撮影した写真の中には、まだまだ眠っているものがたくさんあります。そんな秘蔵写真たちもこれから紹介していければ…。(秦)